

令和5年度標茶町上水道事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和5年度標茶町上水道事業会計決算

2 審査の期日

令和6年6月24日

3 審査の書類

- (1) 決算報告書
- (2) 財務諸表
 - ア 損益計算書
 - イ 剰余金計算書
 - ウ 剰余金処分計算書
 - エ 貸借対照表
- (3) 附属書類
 - ア 事業報告書
 - イ キャッシュ・フロー計算書
 - ウ 収益費用明細書
 - エ 固定資産明細書
 - オ 企業債明細書
 - カ 一般会計借入金明細書

4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状態が適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施しました。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、令和6年3月31日現在における財政状況及び経営成績が適正に表示されているものと認められます。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認めます。

審査結果の概要は以下のとおりです。

1 予算執行状況

予算執行状況及び給水収益の収納状況は別表1～3のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出について

別表 1

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算額に比ベ決算額の増減・不用額	
			R 5年度	R 4年度		
収入	営業収益	78,757,000	(75,179,930) 68,941,691	(95.5) 87.5	(94.8) 87.0	(3,577,070) 9,815,309
	給水収益	69,673,000	(68,620,630) 62,382,391	(98.5) 89.5	(97.6) 88.7	(1,052,370) 7,290,609
	受託工事収益	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(2,550,000) 2,550,000
	一般会計負担金	6,250,000	(6,250,000) 6,250,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	その他営業収益	284,000	(309,300) 309,300	(108.9) 108.9	(121.6) 121.6	(△ 25,300) △ 25,300
	営業外収益	11,010,000	(11,075,822) 11,001,372	(100.6) 99.9	(99.6) 98.9	(△ 65,822) 8,628
	受取利息及び配当金	10,000	(199) 199	(2.0) 2.0	(2.0) 2.0	(9,801) 9,801
	他会計負担金	6,241,000	(6,241,000) 6,241,000	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(0) 0
	長期前受金戻入	3,911,000	(3,910,014) 3,910,014	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(986) 986
	雑収益	848,000	(924,609) 850,159	(109.0) 100.3	(96.2) 87.4	(△ 76,609) △ 2,159
収入合計	89,767,000	(86,255,752) 79,943,063	(96.1) 89.1	(95.4) 88.4	(3,511,248) 9,823,937	
支出	営業費用	79,646,000	(57,464,357) 56,277,436	(72.1) 70.7	(84.4) 81.8	(22,181,643) 23,368,564
	配水及び給水費	43,454,000	(23,823,783) 22,636,862	(54.8) 52.1	(78.0) 73.4	(19,630,217) 20,817,138
	受託工事費	2,550,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(2,550,000) 2,550,000
	減価償却費	32,276,000	(32,274,961) 32,274,961	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(1,039) 1,039
	資産減耗費	1,366,000	(1,365,613) 1,365,613	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(387) 387
	営業外費用	7,360,000	(6,838,978) 3,974,378	(92.9) 54.0	(87.6) 58.1	(521,022) 3,385,622
	支払利息及び企業債取扱諸費	4,171,000	(3,974,378) 3,974,378	(95.3) 95.3	(95.6) 95.6	(196,622) 196,622
	消費税及び地方消費税	3,139,000	(2,864,600) 0	(91.3) 0.0	(76.6) 0.0	(274,400) 3,139,000
	雑支出	50,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(50,000) 50,000
	特別損失	0	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0) 0
予備費	500,000	(0) 0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(500,000) 500,000	
支出合計	87,506,000	(64,303,335) 60,251,814	(73.5) 68.9	(84.2) 79.4	(23,202,665) 27,254,186	
(差引額) 当年度純利益		(21,952,417) 19,691,249				

<注>上段()内の数値並びに割合は消費税込の金額

水道事業収益86,255,752円、予算額89,767,000円に対し3,511,248円の減、執行率は96.1%となっています。主な内訳は、給水収益68,620,630円、予算額69,673,000円に対し1,052,370円の減、執行率98.5%。受託工事収益は受託工事費の執行はなく執行率0%です。

水道事業費用(予備費含む)64,303,335円、予算額87,506,000円に対し不用額23,202,665円、執行率73.5%となっています。主な内訳は、配水及び給水費23,823,783円、予算額43,454,000円に対し不用額19,630,217円、執行率54.8%。受託工事費の執行はなく不用額2,550,000円、執行率0%。減価償却費及び資産減耗費33,640,574円、予算額33,642,000円に対し不用額1,426円、執行率100.0%。支払利息及び企業債取扱諸費3,974,378円、予算額4,171,000円に対し不用額196,622円、執行率95.3%。また、予備費の執行はなく不用額500,000円となっています。

以上の結果、執行額で水道事業収益が水道事業費用を21,952,417円上回っています。

また、水道事業収益の79.6%を占める水道料金(給水収益)の収納状況は次の別表2のとおりです。

(水道料金の収納状況)

別表 2

(単位：円・件・%)

区分	令和5年度					令和4年度		対前年度増減		
	調定額	収納額	収納率	不納 欠損額	未収状況		未収状況			
					件数	金額	件数	金額	件数	金額
現年度分	68,620,630	67,776,590	98.8	0	326	844,040	289	693,100	37	150,940
過年度分	4,591,812	949,310	20.7	0	1,344	3,642,502	1,462	3,898,712	△ 118	△ 256,210
合計	73,212,442	68,725,900	93.9	0	1,670	4,486,542	1,751	4,591,812	△ 81	△ 105,270

(金額には消費税が含まれています)

現年度分調定額68,620,630円、収納済額67,776,590円、差引き収納未済額844,040円、収納率98.8%で前年度と比べ0.2%減少しています。

過年度分調定額4,591,812円、収納済額949,310円、差引き収納未済額3,642,502円、収納率20.7%。当年度末の現年度及び過年度収納未済額合計4,486,542円となっています。

なお、処分状況として、20日前通告24件、10日前通告10件、決定通告10件、処分保留3件、7件の停水処分を行っています。

(2) 資本的収入及び支出について

別表 3

(単位：円・%)

区分	予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額の増減及び不用額	
			R 5年度	R 4年度		
収入	企業債	12,100,000	(12,100,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
			12,100,000	100.0	100.0	0
資本的収入合計		12,100,000	(12,100,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
			12,100,000	100.0	100.0	0
支出	企業債等償還金	23,267,000	(23,266,145)	(100.0)	(100.0)	(855)
			23,266,145	100.0	100.0	855
	建設改良費	24,871,000	(24,871,000)	(100.0)	(100.0)	(0)
			22,610,000	90.9	90.9	2,261,000
資本的支出合計		48,138,000	(48,137,145)	(100.0)	(100.0)	(855)
			45,876,145	95.3	95.5	2,261,855
差引額			(△ 36,037,145)			
			△ 33,776,145			

〈注〉上段()内の数値並びに割合は消費税込みで表示

資本的収入12,100,000円、予算額同額、執行率は100.0%で配水管整備事業の企業債となっています。なお、資本的収入の企業債で300,000円が減額補正されています。

資本的支出48,137,145円、予算額48,138,000円に対し不用額855円、執行率100.0%。内訳は、企業債等償還金23,266,145円で、予算額23,267,000円に対し不用額855円、執行率は100.0%。建設改良費は予算額と同額で24,871,000円、執行率100.0%となっています。

なお、資本的支出の建設改良費で2,926,000円が減額補正されています。

また、資本的収入が資本的支出に不足する額36,037,145円は、減債積立金処分数額9,868,207円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,261,000円、過年度分損益勘定留保資金23,907,938円で補てんされています。

(3) その他の予算事項について

地方公営企業法施行令第17条第1項に規定する予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりです。

ア 企業債

企業債の発行額12,100,000円(収入率100.0%)となっており、目的、限度額、起債の方法、利率及び償還方法は、予算に定められた範囲で執行されています。

イ 議会の議決を経なければ流用することができない経費

職員給与費10,143,254円(執行率52.6%)、交際費は0円(執行率0.0%)で、い

ずれも予算の範囲内で執行されています。

ウ 他会計からの負担金

一般会計負担金6,250,000円（収入率100.0%）、下水道事業特別会計負担金（減価償却費分）6,241,000円（執行率は100.0%）で、合計12,491,000円は、いずれも予算の範囲内で収入されています。

2 経営成績

一営業期間においてどのくらい収益を得たか、また、どのようにして収益を得たか、企業の収益力を示すものとして、以下、損益計算書をはじめとする決算関係資料に基づく記述・図表のとおりです。

金額は消費税及び地方消費税抜き、指数・指標の算出もこれによります。

(1) 主要な利益指標の推移について

別表4

(単位：円・%)

区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総収益	79,943,063	80,797,308	81,071,887	81,934,336	81,853,122
うち営業収益	68,941,691	69,995,936	70,403,945	71,308,173	71,563,845
総費用	60,251,814	70,929,101	74,780,411	73,154,403	72,503,802
うち営業費用	56,277,436	66,650,956	70,083,402	67,828,799	66,460,126
当年度純利益	19,691,249	9,868,207	6,291,476	8,779,933	9,349,320
前年度繰越利益剰余金	0	0	0	0	0
当年度未処分利益剰余金	19,691,249	9,868,207	6,291,476	8,779,933	9,349,320
経常収支比率	132.7	113.9	108.4	112.0	112.9
営業収支比率	122.5	105.0	100.5	105.1	107.7
総資本利益率	5.0	2.6	1.7	2.4	2.6

- <注> 1. 経常収支比率＝経常収益（総収益）／経常費用（総費用）
 2. 営業収支比率＝（営業収益－受託工事収益）／（営業費用－受託工事費）
 3. 総資本利益率＝当年度純利益／（（期首総資本＋期末総資本）／2）

水道事業収益79,943,063円、前年度80,797,308円と比較し854,245円（1.1%）減少。水道事業費用60,251,814円、前年度70,929,101円と比較し10,677,287円（15.1%）減少となっています。水道事業収益が水道事業費用を上回った額19,691,249円は当期純利益として計上し、前年度純利益9,868,207円と比較し9,823,042円（99.5%）増加しています。

経常収支比率132.7%は、水道事業費用が水道事業収益によってどの程度賄われているかを示す指標です。

営業収支比率122.5%は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、経営が営業収益により充足されている形となっています。

なお、水道事業収益並びに水道事業費用の内訳は次の別表5並びに別表6のとおりです。

(収益の内訳)

別表 5

(単位：円・%)

区分	令和5年度 (A)		令和4年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
営業収益	68,941,691	86.2	69,995,936	86.6	△ 1,054,245	98.5
給水収益	62,382,391	78.0	63,204,536	78.2	△ 822,145	98.7
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
一般会計負担金	6,250,000	7.8	6,446,000	8.0	△ 196,000	97.0
その他営業収益	309,300	0.4	345,400	0.4	△ 36,100	89.5
営業外収益	11,001,372	13.8	10,801,372	13.4	200,000	101.9
受取利息及び配当金	199	0.0	200	0.0	△ 1	99.5
他会計負担金	6,241,000	7.8	6,149,000	7.7	92,000	101.5
長期前受金戻入	3,910,014	4.9	3,910,014	4.8	0	100.0
雑収益	850,159	1.1	742,158	0.9	108,001	114.6
総収益	79,943,063	100.0	80,797,308	100.0	△ 854,245	98.9

(金額は消費税抜き)

営業収益は、給水収益62,382,391円で前年度63,204,536円と比較し822,145円(1.3%)減少。受託工事収益は受託工事がなかったため、今年度も前年度同額0円。一般会計負担金6,250,000円、前年度6,446,000円と比較し196,000円(3.0%)減少となっています。

営業外収益は、他会計負担金6,241,000円、前年度6,149,000円と比較し92,000円(1.5%)増加。また、雑収益850,159円で前年度742,158円と比較し108,001円(14.6%)増加しています。

(費用の内訳)

別表 6

(単位：円・%)

区分	令和5年度 (A)		令和4年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年比
営業費用	56,277,436	93.4	66,650,956	94.0	△ 10,373,520	84.4
配水及び給水費	22,636,862	37.5	33,798,142	47.7	△ 11,161,280	67.0
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
減価償却費	32,274,961	53.6	31,865,109	44.9	409,852	101.3
資産減耗費	1,365,613	2.3	987,705	1.4	377,908	138.3
営業外費用	3,974,378	6.6	4,278,145	6.0	△ 303,767	92.9
支払利息及び企業債取扱諸費	3,974,378	6.6	4,278,145	6.0	△ 303,767	92.9
雑支出	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総費用	60,251,814	100.0	70,929,101	100.0	△ 10,677,287	84.9

(金額は消費税抜き)

営業費用は、配水及び給水費22,636,862円で前年度33,798,142円と比較し11,161,280円(33.0%)減少しています。また、減価償却費と資産減耗費33,640,574円で前年度32,852,814円と比較し787,760円(2.4%)増加しています。

営業外費用は、支払利息及び企業債取扱諸費3,974,378円、前年度4,278,145円と比較し303,767円(7.1%)減少となっています。

(2) 配水量及び有収水量について

別表 7

(単位：m³・%)

区 分	総配水量 (A)	減少要因		配水量 (D) = A - B - C	不明水量 (E) = D - F	有収水量 (F) = D - E	有収率 F / D
		消防使用 量 (B)	漏水認定 量 (C)				
令和 5 年度	462,184	885	1,356	459,943	71,715	388,228	84.4
令和 4 年度	461,766	809	956	460,001	65,436	394,565	85.8
対前年度	418	76	400	△ 58	6,279	△ 6,337	△ 1.4

配水量459,943m³、前年度460,001m³と比較し58m³ (0.01%) 減少し、有収水量は388,228m³、前年度394,565m³と比較し6,337m³ (1.6%) 減少しています。配水量に対し有収率は84.4%、前年度85.8%と比較して1.4ポイント下降しています。

(3) 給水人口と給水原価並びに供給単価の推移について

別表 8 □

区 分	令和 5 年度 (A)	令和 4 年度 (B)	差引 (A) - (B)	令和 3 年度	令和 2 年度
計画人口/人	5,020	5,020	0	5,020	5,020
給水戸数/戸	2,165	2,171	△ 6	2,175	2,195
給水人口/人	3,999	4,115	△ 116	4,085	4,166
年間配水量/m ³	459,943	460,001	△ 58	460,668	472,611
年間有収水量/m ³	388,228	394,565	△ 6,337	401,820	414,237
給水収益/円	62,382,391	63,204,536	△ 822,145	63,898,045	65,464,573
ア 給水原価	145円13銭	169円86銭	△24円73銭	176円34銭	166円47銭
イ 供給単価	160円68銭	160円19銭	0円49銭	159円02銭	158円04銭
差額 アーイ	△15円55銭	9円67銭	△25円22銭	17円32銭	8円43銭

- <注> 1. 給水原価 = (総費用 - 受託工事費 - 長期前受金戻入) / 有収水量
2. 供給単価 = 給水収益 / 有収水量

給水人口3,999人、前年度4,115人と比較し116人 (2.8%) 減少。給水戸数2,165戸、前年度2,171戸と比較し6戸 (0.3%) 減少しています。

次に、有収水量を基準とする経営指標として、給水原価は145円13銭、前年度169円86銭と比較し24円73銭 (14.6%) 減少し、供給単価は160円68銭、前年度160円19銭と比較し49銭 (0.3%) 増加となっています。

給水原価と供給単価の差額は前年度9円67銭に対し、マイナス15円55銭となっています。

3 財政状況

本年度の財政状況を貸借対照表及び資料に基づき示すと次のとおりです。(記述の数値は消費税抜きで表示)

<資産>

資産合計は、823,001,396円で前年度末(817,437,614円)より5,563,782円の増加となっています。

固定資産は579,103,994円で、前年度(590,134,568円)に対し11,030,574円減少。内訳は、有形固定資産が578,668,618円で前年度(589,665,703円)より10,997,085円減少し、無形固定資産が435,376円で前年度(468,865円)より33,489円減少しています。

流動資産は243,897,402円で、前年度(227,303,046円)に比し16,594,356円増加。内訳は、現金・預金が239,410,860円で前年度(222,711,234円)に比し16,699,626円増加し、未

収金は水道料金4,486,542円で、前年度（4,591,812円）より105,270円減少しました。

<負債>

負債合計は、417,568,547円で前年度（431,696,014円）に比し14,127,467円の減少となっています。

内訳は、固定負債は企業債が156,391,656円で前年度（154,027,387円）より2,364,269円増加、一般会計借入金76,980,000円で前年度（89,810,000円）より12,830,000円減少し、修繕引当金が30,197,341円で前年度と同額になっています。

流動負債は一時借入金0円で前年度と同額、企業債が9,735,731円で前年度（10,436,145円）より700,414円減少し、一般会計借入金12,830,000円で前年度同額。未払金については3,358,972円で前年度（2,358,200円）より1,000,772円増加し、前受金が245,340円で前年度（296,610円）より51,270円減少し、引当金は817,000円で前年度（820,000円）より3,000円減少し、その他流動負債が15,440円で前年度（13,250円）より2,190円増加しています。

繰延収益は長期前受金が前年度同額170,566,001円、長期前受金収益化累計額が43,568,934円で前年度（39,658,920円）より3,910,014円増加しています。

<資本金>

資本金合計は、373,741,600円で前年度（363,873,393円）に比し9,868,207円の増加となっています。

<剰余金>

剰余金合計は、利益剰余金31,691,249円で前年度（21,868,207円）に比し9,823,042円の増加となっています。

むすび

以上、令和5年度上水道事業会計における予算執行、経営成績、財政状況にわたる金額及び指数等の表示と所見を述べてきましたが、総括として次の通り審査意見を述べます。

令和5年度上水道事業は、生活用水その他の浄水を町民に提供するため、給水戸数2,165戸（前年度2,171戸）で前年度より6戸減少し、年間有収水量388,228^m（前年度394,565^m）より6,337^m減少、年間配水量459,943^m（前年度460,001^m）より58^m減少した水需要構成の状況で運営され、配水管総延長は50.9km（導水管1.2km 配水管49.7km）となっています。

本事業会計に属する専任職員は、令和6年3月31日現在1名。

経営成績は、総収益79,943,063円、総費用は60,251,814円の決算額で差引き19,691,249円（前年度9,868,207円）の純利益を生じ減債積立金として処分されています。

財務状況は、資産合計823,001,396円で、前年度と比較して5,563,782円の増加となっています。

資金的収支は総額48,137,145円執行されており、この資金は企業債の発行で12,100,000円を調達し、不足する36,037,145円は、過年度分損益勘定留保資金23,907,938円、減債積立金9,868,207円、当年度分消費税及び地方消費税資金的収支調整額2,261,000円で補てんされています。

水道料金の未収金については、現年度分、滞納繰越分それぞれについて収納対策の効果がみられ、当年度は4,486,542円で前年度より105,270円減少しているものの、今後も滞納者に対しては積極的かつ実効性のある対応に努めてください。

また、有収率が84.4%（前年度85.8%）であり、引き続き不明漏水の解決に向けての努力を望みます。

上水道事業経営は、給水人口の影響が大きく、人口の減少や節水意識の高まりなどから、給水収益は年々減少することが予測されますが、経費節減などの経営努力により収支のバランスが保たれ現行料金を保持することと、良質な水道水の安定的な供給のため、引き続き、的確な水需要の予測、料金の収納対策、効果的な事業の執行による健全な経営、財政基盤の安定を図るとともに、公営企業として住民生活及び生産活動などの公共の福祉の増進を図られることを望むものであります。

資料 1

標茶町上水道事業貸借対照表比較

(単位：円、%)

款 項	令和5年度 (A)		令和4年度 (B)		差 引 (A) - (B)		備 考
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	対前年度比	
1 固定資産	579,103,994	70.4	590,134,568	72.2	△ 11,030,574	98.1	
(1) 土地	931,672	0.1	931,672	0.1	0	100.0	
(2) 構築物	472,615,833	57.3	477,387,052	58.3	△ 4,771,219	99.0	
(3) 機械及び装置	104,861,813	12.7	110,949,799	13.5	△ 6,087,986	94.5	
(4) 車両運搬具	145,000	0.1	145,000	0.1	0	100.0	
(5) 工具・器具及び備品	114,300	0.1	252,180	0.1	△ 137,880	45.3	
(6) 施設利用権	435,376	0.1	468,865	0.1	△ 33,489	92.9	
2 流動資産	243,897,402	29.6	227,303,046	27.8	16,594,356	107.3	
(1) 現金・預金	239,410,860	29.1	222,711,234	27.2	16,699,626	107.5	
(2) 未収金	4,486,542	0.5	4,591,812	0.6	△ 105,270	97.7	
(3) 貸倒引当金	0	0.0	0	0.0	0	-	注記①
資産合計(1+2)	823,001,396	100.0	817,437,614	100.0	5,563,782	100.7	
3 固定負債	263,568,997	31.9	274,034,728	33.5	△ 10,465,731	96.2	
(1) 企業債	156,391,656	18.8	154,027,387	18.7	2,364,269		注記②
(2) 一般会計借入金	76,980,000	9.4	89,810,000	10.9	△ 12,830,000		注記②
(3) 修繕引当金	30,197,341	3.7	30,197,341	3.6	0	100.0	
4 流動負債	27,002,483	3.3	26,754,205	3.3	248,278	100.9	
(1) 一時借入金	0	0.0	0	0.0	0		
(2) 企業債	9,735,731	1.2	10,436,145	1.2	△ 700,414		注記③
(3) 一般会計借入金	12,830,000	1.5	12,830,000	1.5	0		注記③
(4) 未払金	3,358,972	0.4	2,358,200	0.2	1,000,772	142.4	
(5) 前受金	245,340	0.0	296,610	0.0	△ 51,270	82.7	
(6) 引当金	817,000	0.1	820,000	0.1	△ 3,000		注記④
(7) その他流動負債	15,440	0.1	13,250	0.1	2,190	116.5	注記⑤
5 繰延収益	126,997,067	15.5	130,907,081	16.0	△ 3,910,014		
(1) 長期前受金	126,997,067	15.5	130,907,081	16.0	△ 3,910,014		注記⑥
負債合計(3+4+5)	417,568,547	50.7	431,696,014	52.8	△ 14,127,467	96.7	
6 資本金	373,741,600	45.4	363,873,393	44.5	9,868,207	102.7	
(1) 資本金	373,741,600	45.4	363,873,393	44.5	9,868,207		
7 剰余金	31,691,249	3.9	21,868,207	2.7	9,823,042	144.9	
(1) 利益剰余金	31,691,249	3.9	21,868,207	2.7	9,823,042	144.9	
資本合計(6+7)	405,432,849	49.3	385,741,600	47.2	19,691,249	105.1	
負債資本合計	823,001,396	100.0	817,437,614	100.0	5,563,782	100.7	

注記① 未収金の回収不能評価の計上(ルール計上)

注記② 1年を超えて償還される企業債等の計上

注記③ 1年以内に償還される企業債等の計上(1年基準)

注記④□ 職員期末勤勉手当等の支払いに備え、当年度の勤務に起因する翌年度支払額の計上

注記⑤□ 預り金(職員費各種負担金・所得税外)

注記⑥□ 補助金等で取得した固定資産の収益化費用現在価額

上水道事業経営管理指標

資料2

(単位 千円、%)

NO	項目	積算基礎	5年度		4年度		対前年比	備考			
			数	値	数	値					
1	経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	79,943	$\times 100$	132.7	$\frac{80,797}{70,929} \times 100$	113.9	116.5			
2	営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}} \times 100$	68,942	$\times 100$	122.5	$\frac{69,996}{66,651} \times 100$	105.0	116.7			
3	総資本利益率	$\frac{\text{当年度純利益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本})/2} \times 100$	19,691	$\times 100$	5.0	$\frac{9,868}{380,807} \times 100$	2.6	192.3			
4	企業債償還額 対減価償却額比率	$\frac{\text{企業債償還金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	10,436	$\times 100$	32.3	$\frac{10,906}{31,865} \times 100$	34.2	94.4			
5	固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})/2} \times 100$	68,942	$\times 100$	11.8	$\frac{69,996}{596,061} \times 100$	11.7	100.9			
6	料対 金す 収る 入比 に率	企業債償還額	10,436	$\times 100$	16.7	$\frac{10,906}{63,205} \times 100$	17.3	96.5			
7		企業債償還利息	3,974	$\times 100$		6.4			$\frac{4,278}{63,205} \times 100$	6.8	94.1
8		職員給与費	10,143	$\times 100$		16.3			$\frac{12,423}{63,205} \times 100$	19.7	82.7
9	有収率	$\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}} \times 100$	388,228	$\times 100$	84.4	$\frac{394,565}{460,001} \times 100$	85.8	98.4			
10	施設利用率	$\frac{\text{1日平均配水量 (m}^3\text{)}}{\text{1日配水能力 (m}^3\text{)}} \times 100$	1,260	$\times 100$	65.6	$\frac{1,260}{1,920} \times 100$	65.6	100.0			
11	配水管使用効率	$\frac{\text{年間配水量 (m}^3\text{)}}{\text{導配水管延長 (m)}} \times 100$	459,943		9.0	$\frac{460,001}{51,021}$	9.0	100.0			
12	供給単価	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}$	62,382		160.68	$\frac{63,205}{394,565}$	160.19	100.3			
13	給水原価	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}$	56,342		145.13	$\frac{67,019}{394,565}$	169.86	85.4			
14	職員1人当り給水人口	$\frac{\text{給水人口 (人)}}{\text{職員数 (人)}}$	3,999		2,000	$\frac{4,115}{2}$	2,058	97.2			
15	職員1人当り給水量	$\frac{\text{年間有収水量 (m}^3\text{)}}{\text{職員数 (人)}}$	388,228		194,114	$\frac{394,565}{2}$	197,283	98.4			
16	職員1人当り営業収益	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{職員数 (人)}}$	68,942		34,471	$\frac{69,996}{2}$	34,998	98.5			